# 週間天気予報解説資料

2026年11月22日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月23日から11月29日まで

## ◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・25日は、低気圧はカムチャツカ半島付近に進み、高気圧が西日本付近に移動する。
・26日は、高気圧は日本の東へ移動し、低気圧が中国東北区に進む。前線が沖縄付近で東西にのびる。
・27日は、低気圧が日本海北部に進む。前線が日本の南から沖縄付近にのびる。
・28日は、低気圧がオホーツク海に進む。前線が日本の東から日本の南にのびる。
・29日は、低気圧がカムチャツカの東に進み、高気圧が西日本付近に移動する。

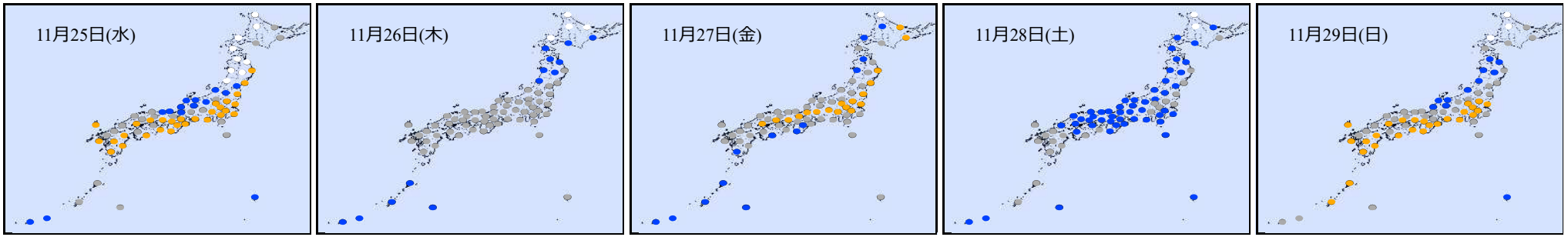
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・25日にかけて、発達する低気圧の影響で、北日本日本海側を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達の程度等によっては大荒れとなるおそれがある。
　また、東日本日本海側では、低気圧の発達の程度等によっては警報級の大雨や高波となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

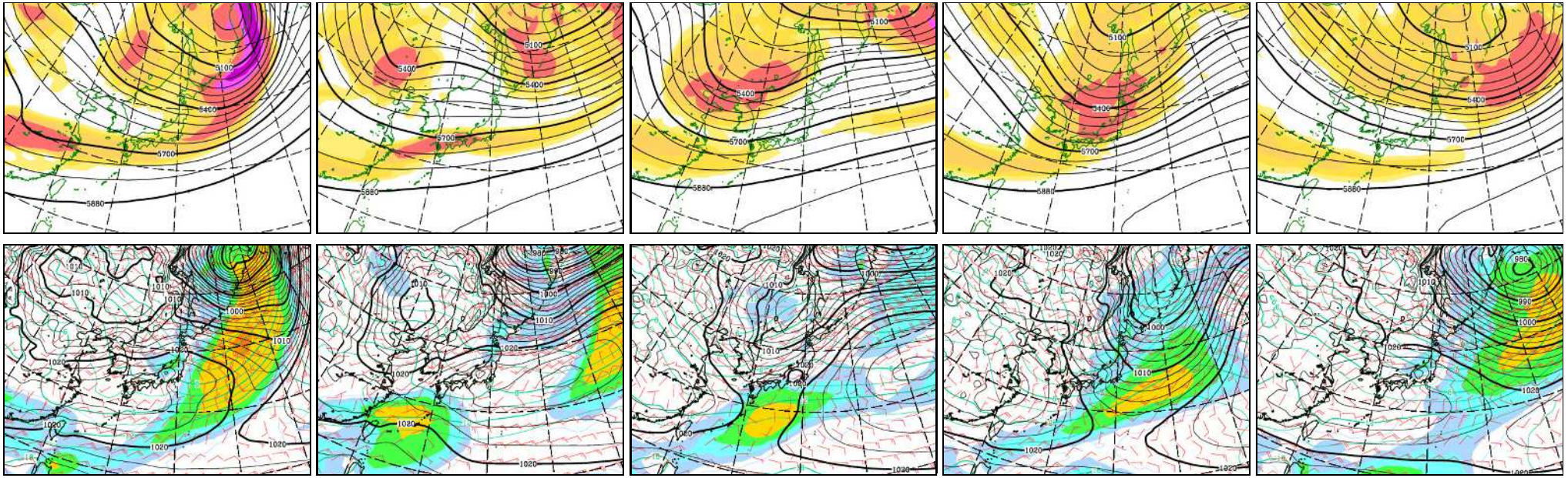
## ◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)




・北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雨または雪の降る所が多い。
・東日本から西日本にかけての太平洋側は、曇りや晴れの日が多いが、27日と28日は雨の降る所がある。
・沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多いが、29日は晴れる所がある。

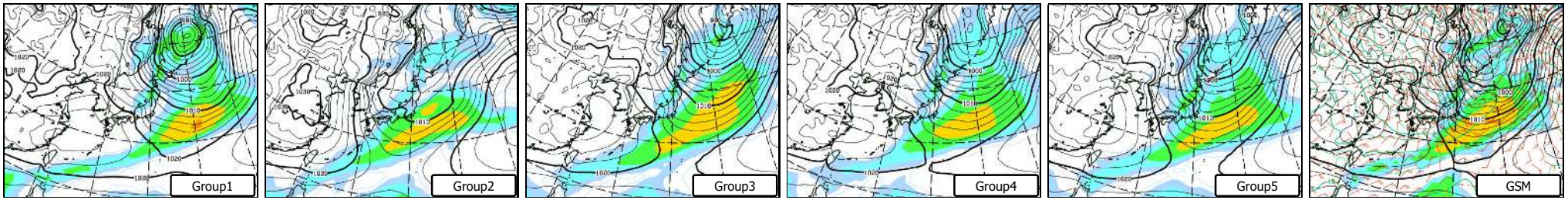
## ◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月25日(水)　11月26日(木)　11月27日(金)　11月28日(土)　11月29日(日)



渦度($10^{-6}$/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆11月28日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)




風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

## ◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、27日から28日にかけて中国東北区から日本海へ進むトラフが深くなった。対応して地上では日本海北部からオホーツク海へ進む低気圧が明瞭となった。
・500hPaの流れについて、27日まではモデル間の差は小さいが、28日は日本海に進むトラフの深さにモデル間の差が大きい。
・地上の気圧配置については、27日から28日にかけてサハリン付近を東進する低気圧の発達の程度に、モデル間の差が大きい。また、同じ頃に本州南岸を東進する前線について、前線上の波動の東進は各モデルで揃っているが、降水域の北への広がりの程度や、日本の東において低気圧が発生するかどうかについてはモデル差があり、ENSはそれぞれのメンバーを含む。
・スプレッドは予報期間の中では28日が最も大きいものの、特定高度線は比較的揃っていてばらつきは小さい。

## ◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。